

ANA ホールディングス株式会社第 42 回無担保社債 (サステナビリティ・リンク・ボンド) の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：浜本 吉郎）は、ANA ホールディングス株式会社が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド（以下「本社債」といいます。）の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

ANA ホールディングス株式会社は、持続的な成長と価値創造に向け、ESG 経営を中核に据えた中期経営戦略を策定しており、本戦略期間における経営の重要課題として掲げた 4 項目「環境」「人権」「ダイバーシティ&インクルージョン (D&I)」「地域創生」に適切に対応することで、「社会的価値」と「経済的価値」を同時に創造し、企業価値の向上を図る方針を示しています。2018 年度に「環境」への取り組みに関連してグリーンボンドを、2019 年度には「D&I」への取り組みに関連してソーシャルボンドを発行しており、今般 4 項目すべての重要課題への取り組みが反映される Sustainability Performance Targets (SPTs) を設定した本社債を発行することを決定しました。

なお、本社債発行のために策定したサステナビリティ・リンク・ボンドフレームワークについて、株式会社格付投資情報センターより、第三者評価として国際資本市場協会 (ICMA) の「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 (2020 年版)」に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場における SDGs 債の専門的な情報収集、お客さまの SDGs 債ストラクチャリングを支援するため、2017 年にサステナブル・ファイナンス・デスク、2019 年にサステナブル・ファイナンス室を設置しました。また、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際 NGO である Climate Bonds Initiative^{※1} とパートナー契約を締結しています。その後 2021 年から、これらの取り組みをさらに強化・拡大するため、サステナビリティ推進部を新設しています。

これらの取り組みにより、当社はさまざまなお客さまの SDGs 債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客さまの社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs 債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以上

※1 ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100 兆ドルの債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行っています。